

令和4年度横浜市地域まちづくり推進委員会表彰部会 及び横浜市都市美対策審議会表彰広報部会合同部会会議録	
議 題	審議事項 議事1 座長の決定について 議事2 第11回横浜・人・まち・デザイン賞について 議事3 その他
日 時	令和5年1月24日(火) 午後1時58分から午後3時08分まで
開催場所	市庁舎18階 共用会議室 みなと6・7(オンライン併用開催)
出席者 (敬称略)	表彰部会委員：(座長) 室田昌子、大野玲子、片岡公一、齋藤 保、田邊寛子 表彰広報部会委員：関 和明、大西晴之、真田純子、鈴木智恵子、高村典子 【議事2】 説明者：大橋奈苗(都市整備局地域まちづくり部地域まちづくり課担当) 奥村 創(都市整備局地域まちづくり部景観調整課担当係長) 事務局：榊原 純(都市整備局地域まちづくり部長) 萩原慶一(都市整備局地域まちづくり部地域まちづくり課担当課長) 白井正和(都市整備局地域まちづくり部景観調整課長)
欠席者 (敬称略)	なし
開催形態	公開(傍聴者：0名)
決定事項	【議事1】座長は、地域まちづくり推進委員会表彰部会の室田部会長に決定した。 【議事2】賞の選考及び広報の方法については、概ね了承された。リーフレット及びポスターデザインについては、本日出た意見を踏まえて修正を行う。
議 事	議事1 座長の決定について (萩原課長) それでは、早速議事に入らせていただきます。今回は合同部会ということで座長の選任が必要になっています。デザイン賞の実施に当たって毎回合同部会を行っており、各部会が交互で座長を選出しております。今回は地域まちづくり推進委員会の表彰部会から座長を選出する回となっております。つきましては、表彰部会の室田部会長にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。 (異議なし) (萩原課長) それでは、これ以降につきましては、室田部会長に座長をお願いしたいと思います。よろしくお願いいいたします。 (室田部会長) ただいま座長ということでご指名いただきました。どうぞよろしくお願いいたします。本日はハイブリッドの会議開催で出席はちょうど半々ということです。少しお聞き苦しい点等ございましたら、オンラインでご参加の方もどうぞご遠慮なくおっしゃっていただくと大変ありがたいと思います。できるだけ円滑に進めさせていただくよう努力したいと思います。よろしくお願いいたします。 議事2 第11回横浜・人・まち・デザイン賞について 資料1から3まで、事務局から説明を行った。 (室田部会長) それでは、これまでの内容につきまして委員の皆様からご質問・ご意見等いただきたいと思えます。どなたからでも結構ですが、いかがでしょうか。何かご質問、ご不明点、あるいは内容の趣旨に対する指摘など、改めてご覧になっていかがでしょうか。 (田邊委員) 質問です。資料3のまちなみ景観部門のところで、表彰対象が「おおむね10年以内に新しく造られたものや、歴史的建造物等再生されたものであること」とありますが、この「歴史的建造物等」の位置づけや制限の範囲などは設定されていますでしょうか。というのは、昨今、皆様リノベーションをいろいろな形でされているので、そういうものを対象に入れてあげられるのかどうかというのが質問

の意図です。以上です。

(室田部会長)

ありがとうございます。事務局のほうでお答えいただけますか。

(奥村係長)

具体的に基準までは定めていないというのが実情です。過去の受賞例から見ると、例えば最近ですと中区役所の別館は、少し歴史的な趣があるもので新しく使い方を変えたものとして受賞している実態がありますが、それが歴史的価値があるかないかや、単純にリノベーションしたものも含むかどうかまでの細かな基準は定めていないというのが実情ですので、具体的に応募があったものを見ながらどうするのかを議論いただく流れになるかなと、事務局としてはそう考えております。

(室田部会長)

ありがとうございます。よろしいですか。

(関部会長)

ちょっと補足させていただきます。国の文化庁か何かの文化財や歴史的な景観などの制度をつくっている部署で一般的に言われているのは、必要条件ですが、創建されてから50年以上たっていれば歴史的建造物である可能性があります。それが必要十分条件ではないですし、私は法律的に決まっているかどうか詳しくないですが、一般的に築50年以上のものと言われています。ですから、戦後建築などは今、歴史的建造物として指定とか認定とか、横浜市は認定制度がありますから、そういう対象にはなり得ると思います。多分それを準用して、築何年という数字でいえば50年以上ということかと思えます。それでもいろいろ質がありまして、10年以内という新しい建物だけになってしましますが、そういうものが再生されて活用されているものは対象にしていけないのではないかという考えで進めていると思います。以上です。

(室田部会長)

ありがとうございます。ただいまの件について、ほかにも何かご意見等ございましたらお願いできますでしょうか。

(大西委員)

この本題から外れてしまうかもしれませんが、まちなみ景観部門で、最近、夜間のライトアップやプロジェクションマッピングなどが全国的にも非常に積極化している感じがしています。もちろんそういうものは建物ではありませんので対象外と考えるのか、まちなみの景観の一部として適当なものがあればそういう範囲で捉えるのか、その辺を教えていただければと思います。

(奥村係長)

夜間のライトアップでいうと、過去の受賞で、直近では第9回でスマートイルミネーションという、夜間のイルミネーションイベントがまちなみ景観部門で選ばれていました。また、少し前になりますが、馬車道のガス灯のプロムナードも、夜のガス灯が照らしている通りの景観が魅力的だということで選ばれていますので、今後もそういう応募があればフラットに審査させていただく流れになるかと思えます。

(大西委員)

ありがとうございました。

(室田部会長)

過去にも対象として既にあったということですね。

(奥村係長)

そうです。

(室田部会長)

ありがとうございます。この点について、他に何かご意見はございますか。よろしいでしょうか。

(大野委員)

先ほどの歴史的建造物の項目のところに「工作等であること」と書いてあります。「工作」の言葉の意味が、どのようなものを含むのか少し分かりにくいなと思いました。どういった範疇を含むものか教えていただけたらと思います。

(奥村係長)

大変失礼いたしました。こちらは脱字でございまして、正式には「建築物、工作物等であること」という表記になりますので、工作「物」という文字が抜けていました。工作物の解釈としては、過去には橋などが選ばれておりますので、そういったものをイメージしております。

(大野委員)

では、結構表彰対象の範囲が広いということですか。

(奥村係長)

工作物で最後に「等」とつけておりますので、これは当初から、ある程度、対象を絞りつつも良い景観については対象となるようにと幅広で想定したと考えております。

(室田部会長)

橋以外には何か過去に該当するものはあったのでしょうか。

(奥村係長)

例えば昔の歴史的建築物の壁部分だけ残っているものが選ばれたりしておりますので、恐らくそういったことでも使えるようにこういう表記にしたのだと思われます。

(関部会長)

受賞されているかどうか分かりませんが、工作物の一例としては擁壁などもそうかなと思います。橋が幾つかありました。古い橋でしたが、それが移築されて架け直されてというのが受賞したことはあります。

(室田部会長)

ありがとうございます。

(鈴木委員)

工作物ではちょっと分かりにくいかもしれませんが、例えば公園とかそういうものも入っていますので、土木という言葉も入れたほうがいいのかないかなと思いました。要するに建築と土木、モニュメントなどだと工作物になるかもしれませんが、土木という言葉を入れると何となく公園とか橋とか、擁壁とかみんな入ってくるので分かりやすいかなと思いました。

(室田部会長)

これまでの指摘から、一般の方には表彰対象になりうるものが分かりにくいかもしれませんね。その場合は、括弧書き等の対応があるとよいかもしれません。具体例をあげるとすれば、橋や擁壁、あるいは公園の遊具でしょうか。

(鈴木委員)

公園自体もあります。

(室田部会長)

そうしましたら、リーフレットに対象となりそうなものを記入してはどうでしょう。

(関部会長)

スペースがあれば、例えばみたいなものを書いたほうがいいですね。

(大野委員)

度々申し訳ありません。そうしますと、例えばアーティストの作成した街の中にあるようなアート作品は、工作物の中に含まれるのでしょうか。

(奥村係長)

工作物に含まれることもあるかなと思っています。

(室田部会長)

やはり具体例を挙げていただいたほうがよいかもしれません。

(高村委員)

例えば去年の元町パークレットは建築物ではなく、動かせたりするので工作物なのかなと個人的には認識していますが、いかがでしょうか。

(鈴木委員)

元町だとペットパーというペットの水飲み場も、小さいものですが、今まで入っていますよね。

(室田部会長)

結構いろいろ出てきそうですね。

(関部会長)

そうですね。

(奥村係長)

この後、資料4でリーフレットのデザイン案などの説明をさせていただきます。全ての説明を載せることはスペースの問題で難しいですが、分かりにくさの解消ということで具体例の写真など、工作物はこういうもので、にぎわいはこういうものだという工夫はさせていただいておりますので、こちらも見させていただいてまたご意見をいただければと思います。

(室田部会長)

分かりました。今の議論は後半にもう一度行いたいと思います。

ほかに何か質問はありますか。ほかにも何か思いつきましたら、最後にでもおっしゃっていただければと思います。

それでは、続きまして後半の部分になります。資料についてご説明いただきたいと思います。

資料4から9まで、事務局から説明を行った。

(室田部会長)

ご説明どうもありがとうございました。それでは審議に入りたいと思いますが、最初にリーフレットとポスターにつきまして何かご意見・ご質問をいただけますでしょうか。

先ほどいろいろと議論になった「工作物」の写真等が入っていますが、いかがでしょうか。これで内容が伝わるかどうかも含めてご意見をいただければありがたいと思います。

少し質問で、リーフレットは景観部門の例が6個載っていて、地域まちづくり部門の例は3タイプが載っているのですが、ほかに幾つぐらいに分かれていましたか。

(大橋)

選考基準では基本的に分野は決まっていないので、あくまで具体例として地域まちづくり部門では今回の3例としています。地域まちづくり部門で表彰されたものは他にも様々な分野があります。第10回受賞団体も3例とは異なる、農業に関することがあります。

(室田部会長)

2部門で掲載される例の数がそろってもいいかなと思ったのですが、地域まちづくり部門でも追加して、6タイプぐらいに分類できたらよいかもかもしれません。

何かご意見・ご質問はございますか。

(齋藤委員)

今の、まちなみ景観部門が6つのジャンルに分かれていて地域まちづくり部門が3つという部会長の意見に私も同じようなことを思っていました。単純に同じリーフレットなのでバランスがということもありますが、特に地域まちづくり部門は、最近、居場所ですとか特徴的なことが多いような気がしますのでそういったカテゴリーとか、あとは前回の青葉区の100段階プロジェクトとかも今のこの3つからは連想しづらいので、より幅広くいろいろなテーマがあることが伝わりやすくなると良いと少し思いました。

(大橋)

今回、地域まちづくり部門としましては、写真だけでは活動の内容がなかなか伝わりにくいというご指摘から、まちなみ景観部門とは異なり、分野の説明文を入れさせていただいております。その関係上、リーフレットのデザインのスペースが限られており、今回は3例だけを掲載いたしました。事務局で改めて考えさせていただければと思います。

(室田部会長)

デザイン上、内容の配置が窮屈になり過ぎるなどの問題も発生するかもしれませんので、ご検討いただければと思います。

(片岡委員)

全体のバランスを見て悩ましいなと思って、僕も調べながら見ていたところです。デザイン的にそろえるという話は置いておいて内容だけで言うと、あくまでも例3つ以外にもあることを、前段の「市民が主体となって分野を問わず行う」と書いてある文章に追記して、「例以外も含む」や「いろいろな分野がある」といった補足を分かりやすく文章で伝えるというのも解決方法としてはあるかなと思いました。

(室田部会長)

いろいろな方法がありそうですね。

(鈴木委員)

地域まちづくり部門は活動で写真では伝わらないから文章が絶対必要ですし、そういう点でリーフレットでは表現が難しい面もあると思います。これは私の記憶ですが、地域まちづくり部門もまちなみ景観部門も最初の頃は、この部門、この部門、この部門と細かい分野ごとに分けるというよりも、地域でいろいろやっている活動、それは何の部門ということではなく、そういうもの全ての応募がオーケーです、自薦でも他薦でもどんどん来てくださーいのような感じでした。それと、まちなみ景観部

門は建物だけもありますが、例えば橋と水辺とか、公園と建物とか複合的なもので、それは一つのまちなみだから、この建物とか、この橋とか、それがいい場合もありますけれども、そうではなくて、もうちょっと広くゆったりとした感じでいいまちなみを選びましょうみたいなところがあったのではないかと、私はそう受け取っていました。だから、あまり部門で、建築物幾つ、土木なんかの工作物幾つとかそういうふうになってきてしまうと、ちょっと違うのではないかと思います。まちなみというのは言葉として分かると思いますし、景観というのものもある程度分かると思いますが、広い意味で市民の皆さんが身近なところでいいと思うものをどんどん応募してくださいという趣旨で敷居を低く、いわゆるコンクールの賞とは違って誰でも応募できますということでやっているとは私は認識しています。初めて応募する人は分からないので、いろいろな例というのはもちろん必要です。どちらの部門にしても緩やかに応募できるような感じは含ませておいたほうがよくて、リーフレットも例はこんなのがありますけれどもという割と大らかな感じで、とにかく地域で皆さんいろいろ活動していただきたいと思います。まちなみも、いいまちなみをどんどん残していきたいと思いますということにつながるように、大らかな感じのデザイン賞のほうが横浜らしいのではないかと思いますので、皆様、いかがでしょうか。私はそんなふうに捉えています。

(室田部会長)

確かにおっしゃることはよく分かります。内容を分かってもらいたいと思って、例をあげて分類していくわけですが、どんどん分けていくとどうしても単体に目が行きがちで、複合性や組合せがあるものも表彰対象になりうるものが逆に伝わりにくくなることもあるかもしれません。大変貴重なご意見ありがとうございます。

(高村委員)

今、鈴木委員がおっしゃったことは本当にそうで、実際に今までのまちなみ景観でも、そこに建物があって、人がいて、にぎわいがあって受賞したという例はすごく多いです。あと、応募するときに分かりやすいように地域まちづくりとまちなみ景観に分けていますが、そもそも市民が教えてくれないと選ばれない賞なので、「あなたのおすすめの“地域まちづくり”、“まちなみ”や“景観”を教えてください」とバーンと初めにあって、部門はいろいろあってどちらも応募できるとか、両方でダブル受賞はないかもしれませんが、さっき鈴木委員がお話ししていてどちらとも言い難いものも結構あると思います。それは、やはり入り口は分けておいたほうがいいのかということもあります。リーフレットだけでも、まずは教えてくださいみたいなことは考えられるのかなと思いました。

(室田部会長)

1つの表彰事業でそれぞれの部門ごとに募集しているわけですが、ただ、「あなたのおすすめの」というのは共通ですね。市民の一人一人にとって「おすすめの見観」とか、「おすすめのまちづくり活動」とか、それを広く集めてみたい、それをぜひ表彰したい、その気持ちは共通しているのかなと私も思いました。それを念頭において、リーフレットやポスターに対する指摘や質問はありますか。すでにいろいろなご意見をいただいておりますが、いずれも大変貴重な意見だと思います。それを踏まえてもう一度、前半の議論に戻りますが、分かりやすさ、分かりにくさのような視点も含めてご意見などはありますか。

(高村委員)

続けて申し訳ないです。リーフレットは表紙が小さいので入れる必要はないと思いますが、ポスターはリーフレットの表紙だけなので、丸とかひし形みたいなところにこれが何であるということで、細かくする必要はないですけれども、ポスターに限ってはキャプションがあったほうがいいのかと思います。リーフレットには要らないと思います。

(室田部会長)

ポスターの写真というご指摘ですね。丸と四角で囲まれた写真について、何かキャプションという説明があったほうがよろしいのではないかとのご意見ですね。

(高村委員)

はい。

(室田部会長)

大分デザインが変わってくるかもしれませんが、何かご意見はございますか。

(田邊委員)

先ほど高村委員がおっしゃった「おすすめ」という言葉は本当にいいなと思いますが、今、画面共有していただいているリーフレット案の右側の「いい活動」の「いい」というのを、もしかしたら「おすすめ」という言葉にしてしまってもいいのかもしれません。「おすすめの見観」、「おすすめ

の景観”とか、そういうのもいいかなと思いました。

(室田部会長)

リーフレットなどに記載の「ヨコハマの」の箇所を「あなたのおすすめの」に変えるというご意見ですか。

(田邊委員)

そういう趣旨です。「ヨコハマの」はあってもいいのかもしれませんが、趣旨としてはそうです。“いい活動”、“いい景観”の「いい」をなくして、“おすすめ活動”、“おすすめの景観”はどうか。

(室田部会長)

なるほど。それもすばらしいですね。

(鈴木委員)

この前の段階で「推し」という言葉が入っているというリーフレットやポスターの案がまちなみ景観部門の委員に送られてきていましたが、今おっしゃっていることと同じことですよ。事前のメールによる意見交換では、「推し」という言葉に対して私はちょっと軽いのではないかと申し上げたのですが、「おすすめ」というと別に軽くないし、より応募する人が主体的な感じになります。「いい」でも意味が同じといえば同じですが、「おすすめ」というと応募する人がその賞に対してより強くアプローチするような感じが出ます。「推し」は今まだ定着していないので言葉として軽く、若者言葉みたいな感じがするのであまりいいと思わなかったのですが、「おすすめ」という言葉は確かにすごくいいのではないかと私も思いました。

あと、写真にキャプションをつけるということですが、確かに写真だけでは見て分からないです。私たち委員は、前もって選んで知っているから分かるけれども、そうでないと分からない部分は結構あります。ただ、デザインとしては、そこにどういう形で文字を入れたらいいのかなと、ポスターとかそういうものは難しくなるのかなと思いました。まちなみ景観部門のほうは非常に短い言葉で入れられると思いますが、地域まちづくり部門のほうはどうしても言葉で説明しないと分からない部分があるので、ちょっと長くなってしまう場合もあるのかなと思います。デザインはすごく大事ですから、入れるのだったらデザイン上うまく、今は写真の下には細かいキャプションがなくてまとまっていますが、どういう見せ方をするのか、ちょっと難しくなるのではないかと思いました。

(室田部会長)

ありがとうございます。例えばリーフレットなどを見た方が掲載の写真の詳細を知りたいと思ったときに、紙面上にQRコードか何かを貼れば、詳しい活動や景観が分かるようにすることは可能ですか。

(萩原課長)

可能だと思います。

(室田部会長)

リーフレットやポスターに追加で文章が入ると随分デザインが変わってしまうなど、若干気になったところではあります。ただ、知りたいとか分かりにくいというご指摘はそのとおりにかなという気がします。その辺、いい形になるといいかなと思います。

(真田委員)

リーフレットのほうで、景観のところを例を6つ出しているのですが、④の「自然と調和した景観」だけ書き方が他と違うというか、建築物、工作物、広場と歴史的建造物というのはそういうものかなと思いますが、それプラスにぎわいというのがあって、④はカテゴリーが全然違うような気がするのですが、もうちょっと何か表現がないのかなというのが1つです。

あとは今、写真と名称と場所しか書いていませんが、何がよかったのかみたいなことを簡潔にでもいいから書いたほうがいいのではないかと思いました。特に②の工作物の霞橋は、この橋自体がすごくかっこよくて表彰されたというよりは、古いものを活用したところが表彰されています。特に地域まちづくり部門のほうでは長い文章が書いてあるので、それと合わせる意味でも1、2行ぐらいの説明があってもいいかなと思いました。

(室田部会長)

景観部門のほうも少し説明を加えてはかがかというご意見をいただきました。また「自然と調和した景観」は若干ほかと書き方が違うかもしれないと。今のご意見で他の方から何かございますか。

(関部会長)

今の真田委員の話で、そもそもこの6つは、あらかじめこういうカテゴリーをつくっていったら

いうのでというのではないのですよね。事後的にリーフレット用に例として6つ載せたのです。それにタイトルをつけていただいて、確かにこの④は「自然と調和した景観」というちょっと長い説明的なものですが、こういうのは単純に言うと「水と緑」とかではないかと。建物ではないし、都市の中でもないし、人工的につくっていますが、自然がつくる景観みたいな。「水と緑」とか分かりやすく言うてしまうのはどうでしょうか、真田委員。

(真田委員)

そのとおりだと思います。対象で書いてあるのに④だけ評価で書いてあるから「水と緑」でいいのではないかと。

(関部会長)

ついでに発言しますが、ポスターのほうの6つは多分それぞれの部門から3つを選んだデザイナーの意図があると思うので、それが伝わればいいと思います。分かりやすいのは水田のものと同段階かな。階段は景観としても面白い感じもしましたが、トリミングしているので右下の丸のインテリアのこれは何だろうみたいなこととか、その上は花木園ではないかと思いますが古い和風の邸宅みたいなものとか、あと、広場はちょっと引いているので分かりにくいですよね。だから、もうちょっと説明抜きで「これ」みたいなインパクトの強い画像で説明しなくても分かるような工夫が必要かなと思います。イメージの選び方の問題かなと思いました。私としてはポスターにキャプションはないほうがいいと思います。

(室田部会長)

写真の意図が少し読み取りにくいというご意見です。私たち委員は説明資料を見ているので分かりやすく、職員の方々もよく見ているのですぐに理解することができますが、初めて見た方はちょっと分かりにくいところがあるのかもしれない。

(大西委員)

皆さんのご意見はごもっともだという部分と、デザイン賞だということが一番大きなテーマになっているわけですから、受け取った方のイメージで、この田んぼが何だという説明まで必要なのかなという個人的な意見を持ちます。

(室田部会長)

逆にそれぞれ何かな？と思ってもらったほうがいいこともあるかもしれませんね。いろいろなご意見があってそれぞれごもっともと思うところがあり、でも、最終的には悩まれるかもしれません。大変貴重な意見をたくさんいただきまして、恐らく事務局側は、全部実現するのは非常に難しいと思っておられるような気もいたします。ほかにもご意見があれば承りまして、その上でこれからどのように進めるか、進め方について事務局からご意見をいただいたほうがよいと思いましたが、いかがでしょうか。

(大野委員)

先ほどご意見があったことにさかのぼってしましますが、景観賞というのを私なりに考えてみて、横浜らしい景観を考えた場合に、例えば大分前に受賞したナビオスというホテルで、四角い絵画のような、切り取った窓枠のような構造を持った建物、門といいますか、そこから今、ロープウェイやランドマークタワーが重層的に重なって見える空間が素晴らしいと思って拝見しています。もしくは、同じこととして、例えば赤レンガ倉庫とベイサイドブルーです。連結した青いバスで、先ほど単体ではなくというご意見があったと思いますが、ただ単に連節バスが走っているということではなくて、連節バスが赤レンガ倉庫をバックにしたときに、すごくレトロなものと、最新の工作物と言っていいのかわかりませんが、それが組み上がっているところにすごく横浜らしさを感じたりします。先に言ったロープウェイやランドマークタワーが一つの窓のような空間から重なって見えるというのも、それ自体がすごく重なっているというか、単体でないところに横浜らしい、他にない景観だなと思わせるものがあったりして、そういう意味で景観賞はただ単体のもではなくて、幾つかのものが重なる瞬間があるので、そこが私のおすすめですというような捉え方から、応募する際に単体ではないものも可能でしょうか。

(奥村係長)

募集の対象としていたのは、建築物、工作物と、まちなみもともと含まれておりますので、単体でというのはもちろん大丈夫です。ベイサイドブルーは第10回で受賞されていますが、ベイサイドブルーと赤レンガ倉庫のような、何かと何かのまちなみというものも、もちろん応募いただければと思っています。

	<p>(大野委員) 分かりました。そのあたりは横浜らしいなといつも感じています。</p> <p>(関部会長) 今のご指摘で、対象は古いものと新しいものではないですが、前回の横浜市役所の水辺テラスとくらみらい橋は応募がそれぞれ別々にありまして、審査する中でこれを2つで1つのもの、複合しており、その後ろに市庁舎があって空間的にも隣接していますので、市庁舎のふもとの景観として橋とテラスを併せて表彰したことはあります。ですから、複数のものが重なり合って一つの景観をついている、まさにそれがまちなみだと思いますので、その視点はすごく大事だと思います。ご指摘ありがとうございます。</p> <p>(大野委員) 分かりました。ありがとうございます。</p> <p>(鈴木委員) 山手でも横浜気象台とブラフ18番館の複合での受賞があります。建物と小公園みたいなことで表彰されていますし、結構そういうのはあります。あと、例えば新横浜公園から見た首都高速道路のトラス橋とか、複合的なものが毎回1個ぐらいは受賞しています。おっしゃるように大きくまちなみで捉えたと単体では捉え切れない面はいっぱいありますので、むしろそういうところが増えていくほうが横浜のまちなみは良くなります。単体でそこだけいいというのではちょっと寂しいです。それがどんどん広がっていく、その過程を見せてくれるようなまちなみや景観がどんどん応募されて受賞できればすごくうれしいことだと私は思っています。</p> <p>(室田部会長) 景観部門はそういったいろいろな組み合わせあった複合的なものが非常に重要で、一方、地域まちづくり部門も、単体活動というよりいろいろな活動がうまく組み合わせると、その地域の相乗効果みたいなものが生まれてきます。それぞれ景観の組合せによる面白さとか相乗効果があるでしょうし、活動も同じように相乗効果的なものを期待しながら複合的にいろいろな活動を組み合わせさせてやっていくこともあり、地域まちづくり部門を見ていて非常に面白いなと思っています。</p> <p>他に意見などはございますか。今回、大変貴重な意見をたくさんいただいたと思います。今、たくさんの意見をいただいたと思いますので少し見直し等も必要かなと感じているところですが、そういったことも含めて今後の進め方を少しご説明いただきたいと思います。</p> <p>(奥村係長) 主にリーフレットやポスターについてのご意見をいただいたかと思います。これは作成の期限があるものですから、対応できるものと対応が難しいものがあるかなと思っています。一方で、また皆様にお集まりいただくというのも時間的になかなか難しいと思いますので、大変恐縮ですが、一度、今日いただいた意見を踏まえて早急に事務局で詰め、修正案をメール連絡等でさせていただき、ご意見をいただきという、そのキャッチボールをさせていただければと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>(室田部会長) これからの進め方ということでご説明いただきました。何かご意見・ご質問はありますか。それでは、そういった形で進めていただければよろしいかと思います。</p> <p>議事3 その他</p> <p>(室田部会長) 他に事務局から何かありますか。</p> <p>(萩原課長) 今日の審議事項は以上になります。たくさんご意見をいただきまして、いろいろな視点があることが非常に参考になりました。それを踏まえてできるだけ意見を反映させたポスター、リーフレットをつくっていきたく思いますので、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>閉会</p> <p>(萩原課長) 本日の合同部会はこれで終了させていただきたいと思います。長い時間ありがとうございました。引き続きよろしくお願いいたします。</p>
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・名簿 ・資料1：スケジュールについて

	<ul style="list-style-type: none"> ・資料2：各部会で出された主な意見とその対応について ・資料3：選考方法等について ・資料4：募集リーフレット案・ポスター案 ・資料5：広報について ・資料6：横浜まちづくり顕彰事業実施要綱 ・資料7：横浜まちづくり顕彰事業実施細目 ・資料8：第18回横浜市地域まちづくり推進委員会表彰部会議事録 ・資料9：第21回横浜市都市美対策審議会表彰広報部会議事録
特記事項	